

ひろしま映像 ショーケース 2025

入場無料

主催／広島市映像文化ライブラリー
協力／ひろしま国際平和文化祭実行委員会

広島発！ インディーズムービー

広島には、表現のひとつとして「映像」を選び、取り組む人たちがたくさんいます。そして、素晴らしい作品を数多く創り出しています。「ひろしま映像ショーケース」では、そんな作り手たちの作品を、フィルムマラソン形式でお届けします。広島発の自主映像をお楽しみください。

2025年3月22日(土)、23日(日)

3/22(土)14:00~18:00 自主制作グループ作品

◇Quest Movie Factory(QMF)

有名監督を輩出する老舗レーベル。
上映作品『左耳の精霊』2000年(監督／吉松幸四郎 68分)
みちのく国際ミステリー映画祭角川オフシアターコンペティション優秀作品
2001年プラネット映画祭入選ノミネート
左耳の耳鳴りに悩まされていた民族学研究生の水樹は石仏の傍らで黒髪を見つける。一方、記憶の混濁した男・鬼山は自分が鐘を持ち誰かと共鳴しているのを感じる。7ヘルツの地鳴りが二人にある予兆を告げ始めていた。

◇広島を盛り上げる実行委員会

映画で広島を元気に！若者と協同で毎年、新作映画を制作し上映を開催。
上映作品『死後の告白』(監督／岩本浩明 23分)
俳優陣の迫力ある演技が見ものです。

◇広島エイト倶楽部

1958年に発足したアマチュア映像作家グループ。主に西区民文化センターにて、公開上映会をほぼ毎年開催。
上映作品『横川ビクトリーロード』2024年(広島エイト倶楽部共同制作 25分)
横川から新サッカースタジアムへ続く道をビクトリーロードと名付け、街を挙げて取り組んでいる姿を作品にしました。

◇イチエンポップフィルム(IPF)

1986年結成。8ミリフィルムからスタートし、以後広島を拠点にファンタジー・サスペンス・アクション・コメディ・アートと多彩な作品を輩出。現在制作本数48本、延べ監督数20名。最新作はヒロインアクション『AKI Agent Angel』。
上映作品『AGAPE』2006年(監督／胤森 淳 63分)
余命宣告を受けた青年が、突如始めた「婚活」。その顛末は？韓流ドラマを彷彿させる、昭和のテレビドラマの世界観溢れる、難病純愛物語。

◇市民活動で映画製作をする会

プロ顔負けのクオリティを誇る制作団体。

◇地域密着型ムービープロジェクト

一般会社社員が企画した「一般人たちによる、週末等のオフタイムを活用したエンタメ創造活動」のプロジェクト！



3/23(日)14:00~16:00 学生作品 ほか

◇平和をテーマに中学生が制作した アニメーション

広島市立城山中学校 美術部『ひろがる』
広島市立五日市中学校 美術部『Dove's Eye』
広島市立祇園中学校 美術部『じゃ、ないほう』
広島市立段原中学校 美術部『その時』
広島市立口田中学校 美術部『2024口田中学校作品集』

◇高等学校放送部

広島市立基町高等学校『TEPPEKI』
広島県立呉三津田高等学校『あの山に登れ！！』
ノートルダム清心高等学校『同じ地面を踏みしめて』

◇卒業制作作品(アニメーション)

比治山大学短期大学部 美術科
広島市立大学 芸術学部 デザイン工芸学科

◇第2回ひろしま国際平和文化祭 ひろしまアニメーションシーズン

2024コンペティション グランプリ作品
『美しき男たち』(監督／ニコラス・ケッペン 19分)

広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312



■開館時間：火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日：月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日